

令和5年度 第3回 小金井市立緑中学校 学校運営協議会 議事録

1 開催日時 令和5年10月14日（土） 午後2時から午後4時10分まで

2 場所 本校1階会議室

3 出席者

委員	高橋 秀樹	小金井市青少年健全育成北部地区委員会 会長
委員	八木 尚子	民生・児童委員
委員	後藤 幹芳	父母と教師の会会長 緑小学校学校運営協議会委員
委員	前田 薫平	父母と教師の会副会長 第三小学校学校運営協議会委員
委員	小林 浩	学校支援地域本部コーディネーター
委員	中野利枝子	公募委員（元 父母と教師の会会長）
委員	塩原 真一	校長
委員	蓮沼 喜春	副校長
説明員	瀬沼 将己	生活指導主任 第2学年主任・2年A組担任
説明員	橋本 一彰	進路指導主任 第3学年副担任
説明員	鈴木 史子	特別支援教育コーディネーター 特別支援教室巡回指導教員
書記	下平 幸一	2年F組担任

4 傍聴人数 0名

5 協議内容

(1) 校長挨拶

①文化発表会の合唱の部の練習が、来週（10/16（月））から始まりますが、インフルエンザなどの感染症が広がらないように気をつけさせたい。

②令和5年9月から都立小金井北高等学校と東京学芸大学の学生による学習ボランティアを受け入れている。今後も連携を深めていきたい。

(2) 学校関係者評価アンケート及び学校評価中間まとめについて

①小学校から話し合い活動を行っているので、先生が引っ張るのではなく、生徒がたくさん意見を言うことができる環境を整え、先生がうまくコントロールして、話し合い活動を重視した授業展開をお願いしたい。

②道徳の授業では、生徒の価値観・常識をくつがえすことができるような授業展開をお願いしたい。

③世の中のことをネガティブに考えるのではなく、子供たちの意見をポジティブにとらえて、指導にあたってほしい。

④本日（10/14（土））の2年生の道徳の授業で学んだことが、10/16（月）から始まる文化発表会の合唱の部の練習にどのように生かせたのか、その後の成果を知りたい。

⑤体育会への取り組みを通して、担任の先生からクラス全体を見ての話をしたり、全校でアンケートを実施して、体育会実行委員会がアンケートの集計をして、全校生徒に体育会便

りを通して周知したり、体育会の振り返りを行っている。

- ⑥一般的に、「心理的安全性」のある職員室を目指し、先生同士が何でも言い合える雰囲気をつくること、「心理的安全性」を確保した生徒への指導につながる。
- ⑦ICT教育において、「タブレットの文房具化」を目指し、指導してほしい。
- ⑧生徒が登校したら、すぐに自分のタブレットの電源を入れて準備をすることで、資料の配布・回収がスピーディーに行うことができる。また、タブレットを活用することで、資料を効率的に共有することができる。タブレットの有効活用をお願いしたい。
- ⑨新標準服について、アンケートを取るのではなく、生徒に議論をする場面をつくってほしい。
- ⑩リカレント教育を意識して、「自分ごとにして、考えさせる工夫」をするなど、指導にあたってほしい。
- ⑪ICT機器を使うことで、授業中の生徒との関わり合う時間が増えるなど、授業の内容・時間配分が変わってくる。
- ⑫タブレットで動画を見せると、生徒の興味や関心が増す。
- ⑬「ビルド&ビルド」ではなく、「スクラップ&ビルド」で、授業改革を進めてほしい。
- ⑭「トライ&エラー」、「アジャイル」を意識して、改革を進めてほしい。
- ⑮道徳の授業について、新しい発想を取り入れるとともに、「スクラップ&ビルド」を意識しながら、破壊という改革を進めていく。
- ⑯「社会を明るくする運動」の中学生のティッシュ配りのボランティアについて、目的など検討が必要である。
- ⑰10/15（日）の小金井公園での「薬物乱用防止の中学生ボランティア」において、市内の中学校では緑中の参加者が一番多い。
- ⑱コミュニティースクールを通して、学校と保護者、地域住民が協働して、「ライフキャリア」を意識しながら、指導をしていきたい。

(3) その他

- ①自転車のヘルメットの着用（努力義務）と自転車の保険の加入について、継続的に指導してほしい。
- ②コロナウイルス感染症の影響で、先生と保護者の話をする機会が減り、今まで以上に先生と保護者の距離感が遠くなった印象がある。今後、徐々に話をする機会を増やし、距離感を縮めていきたい。

(4) 事務連絡

1/13（土） 8:45～ 授業参観 9:45～ 協議会 学校関係者評価まとめの確認

2/26（月）15:00～ 学校評価報告書の確認、令和6年度に向けて